

ふれあい 支え合い

地域の中でさまざまな人々が出会い、尊重し合いながら、支え合いの輪が育まれる居場所づくりを開設・運営する団体へ助成します。

**第一次 募集期間 令和6年7月1日(月) ～ 7月31日(水)**

## 助成団体

- ✓ ①居場所の開設を予定している団体
- ✓ ②居場所の運営を行っている団体

## 助成対象の要件

- ✓ 実施回数は月に1回以上で
- ✓ 幅広い年代の参加者で
- ✓ 参加者は概ね5人以上で
- ✓ 調理を行う場合は、衛生面に配慮など

## 提出書類

- ✓ 助成金交付申請書
  - ✓ 事業計画書
  - ✓ 助成金交付請求書(交付決定後)
  - ✓ 助成金実績報告書(活動年度終了後)
  - ✓ 収支決算書(活動年度終了後)
  - ※対象経費の領収書
- 各様式は窓口で配布します。(本会のホームページからダウンロードが可能です。)

## 助成金額

- ✓ ①開設準備費  
25,000円
  - ✓ ②運営費  
5,000円
- ※①の場合は、開設準備費と運営費を併せて30,000円(限度)  
※②の場合は、5,000円(限度)  
※いずれも1回が限度

## 助成対象経費

会場使用料、備品購入費、消耗品費、食材費、印刷製本費、通信運搬費、保険料など (団体構成員用の食費不可)

## 申請方法

- ✓ 成田市社会福祉協議会事務局へ持参または郵送

## 具体的な活動例

## 【新規開設】

地域交流見守りサロン、子ども食堂、地域食堂、認知症カフェ、子育て応援サロン・不登校やひきこもりの社会参加サロンなど



## 【既存活動】

成田市が推進している「なりたいきいき百歳体操」実施グループ(令和4年度以前の開設が対象)

- ※趣味を共有するサークルや娯楽を中心とした活動などは対象外となります。
- ※他の制度等が利用できる場合は該当する助成金を優先してください。



※助成は予算の範囲内で対応し、応募団体が多い場合は選考します。

※決定の可否は、申請を受け付けた団体の活動内容、実施回数、参加対象者等について「社会福祉法人成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金交付要綱」に基づいて総合的に判断いたします。

※詳しくは助成金交付要綱や裏面のQ&Aをご参照ください。

※令和6年度の第二次募集は12月を予定しています。

**申請前の事前相談をおすすめしています！**



申請先・問合せ先: 成田市社会福祉協議会

成田市赤坂1-3-1(成田市保健福祉館内) ☎ 0476-27-7755

# Q&A



～ ご不明な点などがございましたら気軽にどうぞねください ～

## Q1. 対象となる具体的な活動は何ですか？

A1. 地域交流見守りサロンや子ども食堂（子どもから大人までを対象とする地域食堂）など。また、認知症や自宅に閉じこもりがちの方などが社会と繋がる機会の促進を目的としていますのでさまざまな方を対象にしてください。なお、本助成金は、子どもから高齢者まで世代を超えて幅広く、住民に開かれた居場所づくりの増進を目的とし、地域の状況に即した柔軟な取り組みを応援するものです。

## Q2. 現在、高齢者のみを対象としている団体は対象となりますか？

A2. 例えば、なりたいいきいき百歳体操を行っている団体では、若い世代の方が参加を希望した時は、受け入れに柔軟な対応をお願いいたします。また、一層の生きがいややりがいづくりのため、年に数回は子どもが参加できるような行事などの開催に務めてください。

## Q3. 既に居場所づくりを運営している団体ですが、開設準備費の助成を受けることはできますか？

A3. 新たに開設される団体が優先となりますが、開設されてから概ね1年以内の活動は対象としています。

## Q4. 飲食費は対象になりますか？

A4. 子ども食堂の食材費やサロン活動における茶話会時の湯茶などは対象となります。ただし、団体の運営スタッフやボランティアなどが行う会議、交流目的であったとしても一度きりの単発で開催する事業などの飲食は対象外です。

## Q5. 過去に本助成金を受けた団体でも本助成金を申請することはできますか？

A5. 過去に利用した団体は対象外です。ただし、開設準備費のみ助成を受けた場合は、運営費（上限5,000円）が1回を限りとして助成対象となります。

## Q6. 助成金の交付を受けた後、支出額が交付額に満たなかった場合の取り扱いはどうなりますか？

A6. 交付額と支出額の差額が返金対象となります。

## Q7. なりたいいきいき百歳体操を新規開設する場合は助成金の対象にならない理由はどうしてですか？

A7. 成田市高齢者居場所づくり事業補助金を利用してください。なお、2年目以降の活動に対しては1回限りとなりますが本助成金の運営費は対象となります。

## Q8. 助成金は継続的に利用することはできますか？

A8. 本助成金は、開設準備費と運営費いずれも1か所あたり1回が限度となるため一度交付を受けた団体は、次年度以降であっても対象外となります。ただし、同団体が他地域等で新たな居場所の立ち上げを行う場合は利用対象となります。

## Q9. 申請方法と申請した後の流れを教えてください。

A9. 成田市社会福祉協議会事務局の窓口か本会のホームページからダウンロードにより交付申請書類をご用意いただき、所定の事業計画書を揃えて窓口へ持参、または郵送により提出してください。令和6年8月中旬を目安に助成の可否を通知します。交付決定を受けた団体は、新たに交付請求書を提出してください。請求に基づき9月中旬を目安に指定口座に振込みます。年度終了後には、所定の実績報告書と収支計算書など（支出を証する書類の写し）を令和7年4月中旬の指定日までに提出していただきます。年度途中で活動休止などの計画変更がある場合は遅滞なくご連絡ください。

# 社会福祉法人成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金交付要綱

## (目的)

第1条 この要綱は、成田市社会福祉協議会（以下「本会」という。）が成田市内における居場所を開設する団体及び居場所を運営する団体を財政面から支援することにより、住民主体の福祉のまちづくりを推進することを目的とする。

## (定義)

第2条 居場所とは、地域社会の中で様々な人々が互いの存在を認め合い、支え合いや仲間づくり、一人ひとりが活躍できる役割の創出に向けた出会いをつくることのできる場をいう。

## (交付対象団体)

第3条 助成金交付の対象となる団体は、成田市内において自立的、継続的に居場所づくりの活動が見込める団体であり、いずれも助成回数は1回に限るものとする。尚、宗教又は政治活動等を目的とするものは対象としない。

- (1) 居場所の開設を予定している団体
- (2) 居場所の運営を行っている団体

## (助成対象事業)

第4条 成田市内において居場所の運営を行い、次の各号の要件をすべて満たすものとする。

- (1) 実施回数は、原則として月1回以上とする。ただし、活動の実情に応じて弾力的に対応するものとする。
- (2) 参加対象者は、子どもから高齢者まで世代を超えて幅広くなるように努め、地域住民に開かれた運営を行うものとする。
- (3) 活動内容は、参加者の実情に応じた多様な活動とするが、特定の趣味などに限定した習いごと教室、サークル活動等は認めないものとする。
- (4) 参加者の活動単位は、概ね5人以上とし、地域の規模や会場のスペースおよび活動内容などに応じたものとする。
- (5) 会場の選定は、公民館等の公共施設や個人宅等、多様な形態を認めるものとする。ただし、調理をする場合は、衛生面に十分配慮したものとする。

(助成対象経費及び助成金の額)

第5条 居場所づくりに係る助成対象経費及び助成金の額は、別表に定めるとおりとする。

(交付申請)

第6条 助成金の交付を受けようとする団体は、助成金交付申請書(様式第1号)に、事業計画書(様式第2号)を添えて会長に提出しなければならない。

(交付決定)

第7条 会長は前条の申請を受けたときは、その内容を審査し助成の可否を決定し、助成金交付決定(却下)通知書(様式第3号)により申請団体に通知するものとする。

(交付請求)

第8条 前項の規定により助成金交付の決定通知を受けた団体が、その交付を受けようとするときは助成金交付請求書(様式第4号)を会長に提出しなければならない。

(実績報告)

第9条 助成金の交付を受けた団体は、当該年度の3月31日までの活動について助成金実績報告書(様式第5号)に収支決算書(様式第6号)を添えて、当該年度終了後20日以内に会長に提出するものとする。

(交付の取り消し又は返還)

第10条 次のいずれかに該当するときは、助成金の交付を取り消し、又はすでに交付した助成金の全部又は一部を返還させるものとする。

- (1) 事業の全部又は一部を行わないことになったとき
- (2) 居場所の実施方法又は助成金の使途が不適切と認められたとき
- (3) 申請内容に不正な行為があったとき

(その他)

第11条 この要綱に定めのない事項については、会長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は、令和 3 年 1 2 月 1 0 日から施行し、令和 3 年度事業から適用する。

別表（第 5 条関係）

助成対象経費		助成金の額
開設準備費	備品購入費、改修費、報償費、会場使用料、消耗品費、教材費、食材費、印刷製本費、通信運搬費、保険料、旅費	1 か所あたり 1 回を限度として 2 5， 0 0 0 円を上限額とする。
運営費		1 団体あたり 1 回を限度として 5， 0 0 0 円を上限額とする。

様式第 1 号

年 月 日

成田市社会福祉協議会  
会長 様

住 所

団 体 名

代 表 者 印

電話番号

成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金交付申請書

成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金の交付を受けたいので、成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金交付要綱第 6 条の規定により、下記のとおり申請します。

記

交付申請額 円

内 訳	開設準備費	円
	運営費	円

## 様式第2号

## 事業計画書

居場所の名称				
居場所の目的 (活動内容)				
参加対象者				
開催場所	(住所)  (名称)			
開催期間	年 月 日      ～      年 月 日			
初回の開催予定日 (立上げの場合のみ)	年 月 日 (      )			
年間の開催予定 (回数)		1回の予 定定員		
開催時間	時 分      ～      時 分			
参加費	有 (      円/回)      ・      無			
年会費	有 (      円/年)      ・      無			
運営人数	人			
代表者氏名/連絡先	(電話)			
事業費の内訳	総 額	助成金等	自己負担金	そ の 他
団体の概要				

※ 添付書類：事業計画の内容がわかる資料等

団体名  
代表者名

成田市社会福祉協議会  
会長 (印)

年 月 日付で申請のあった成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金にいては、下記のとおり決定したので、成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金交付要綱第7条の規定により通知します。

交付決定額	円
内訳	
開設準備費	円
運営費	円



様式第 4 号

年 月 日

成田市社会福祉協議会  
会長

様

住 所

団 体 名

代 表 者

印

電話番号

成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金交付請求書

年 月 日付け、 第 号で交付決定のあった成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金について、成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金交付要綱第 8 条の規定により下記のとおり請求します

記

1. 請求金額 円

2. 振込指定口座  
(助成金の交付を受けるための金融機関口座を記入してください。)

金融機関		支 店 名	
預金種類	普通 ・ 当座	口座番号	
フリガナ			
口座名義			

様式第 5 号

年 月 日

成田市社会福祉協議会

会長 様

住 所

団 体 名

代 表 者 印

電話番号

成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金実績報告書

年 月 日付け、 第 号で交付決定のあった成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金に係る事業が完了したので、成田市社会福祉協議会居場所づくり助成金交付要綱第 9 条の規定により報告します。

居 場 所 の 名 称			
開 催 場 所			
開 催 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日		
開 催 回 数		参加者数 (合計)	
参加者の属性			
【活動内容・効果等】			

※ 添付書類：活動の様子がわかる資料等

様式第 6 号

収 支 決 算 書

収 入

項 目	金 額 (円)	摘 要
合 計	円	

支 出

項 目	金 額 (円)	摘 要
合 計	円	

※ 添付書類：支出を証する書類の写し